



東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo)

地域住民コホート室 報告

Vol.3
平成28年9月



追跡調査票のご協力をお願いいたします

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo) が行っております地域住民コホート調査では、調査ご参加後、約1年から2年おきに追跡調査票のご回答をお願いしております。調査票がお手元に届きましたら、ご回答頂きますよう、お願いいたします。

また、紙面でのご回答のほかに、インターネットでのご回答ができるようになりました。詳しくは別紙をご覧ください。

何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

結果報告会を開催しております



ToMMoでは、健康調査結果から分かったことを皆さまへご報告する結果報告会を、各地で開催しております。

地域住民コホート調査にご協力頂いた方はもちろんのこと、そうでない方もご参加頂けます。参加費無料・事前申し込み不要です。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

| 平成28年9月以降の開催予定 | | |
|----------------|-----------------|-------------|
| 蔵王町 | 平成28年9月2日 (金) | 蔵王町地域福祉センター |
| 名取市 | 平成28年9月14日 (水) | 名取市文化会館 |
| 村田町 | 平成28年9月28日 (水) | 村田町中央公民館 |
| 大郷町 | 平成28年10月7日 (金) | 大郷町保健センター |
| 大河原町 | 平成28年10月31日 (月) | 大河原町保健センター |

※開催が近づきましたら、その地域でご協力頂いた方へ郵送にてご案内を差し上げます

お問い合わせ

〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート室 (平日9:00~17:00)

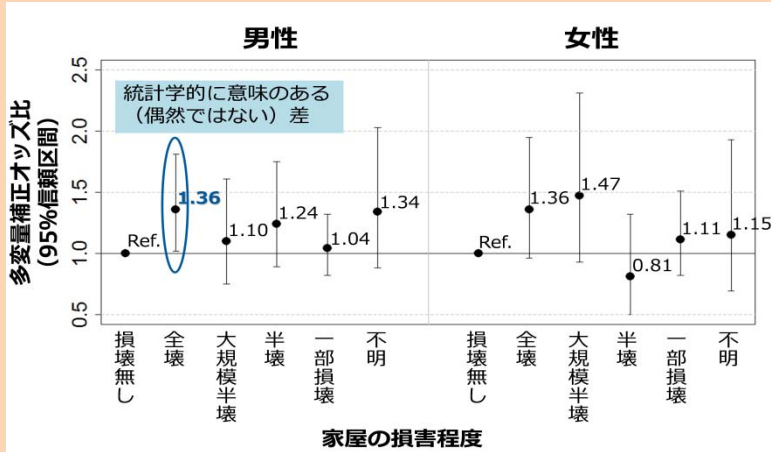
電話 : 022-718-5161



地域住民コホート調査から見てきたもの

震災後の宮城県におけるメタボリック症候群の規定要因

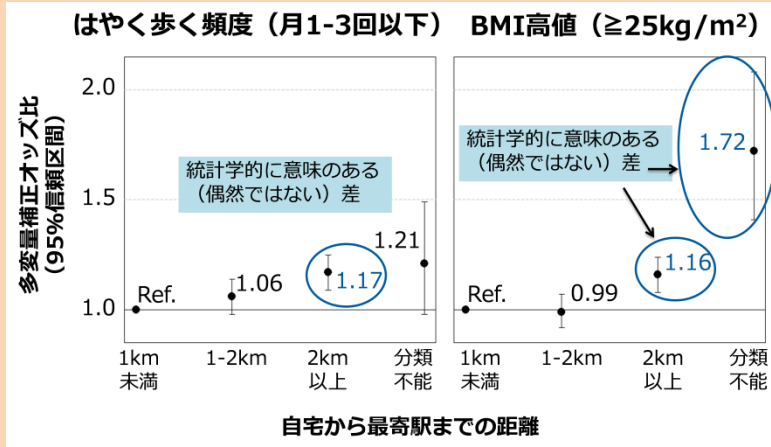
平成25年度特定健診診査会場等で参加した方のうち、国民健康保険加入者でメタボリック症候群の判定結果がある6,093名の分析を行いました。



家屋の被害状況が大きい男性で、メタボリック症候群の有病率が高い(1.36倍)ことがわかり、その差は統計学的に意味のある差でした。

自宅から最寄駅までの距離と歩行習慣及びBMIの関連

平成25,26年度特定健診診査会場等で参加した24,689名の分析を行いました。



自宅から最寄り駅までの距離が遠いほど、はやく歩く頻度は少なく(1.17倍)、BMI高値(BMI \geq 25kg/m²)が多かった(1.16倍)ことがわかりました。

<結果> 震災の影響で、県内の方々の活動量が減っている可能性があります。また、公共交通機関網が歩行習慣 (BMI) に影響を与える可能性が示されました。

<考察> 住宅環境の改善や公共交通機関網の整備による歩行頻度の増加がロコモティブ症候群予防に貢献できると考えられます。この解析は現在までの結果であり、他の参加者のデータを含めたさらなる解析を進める必要があります。

ToMMoでは、各自治体へ結果の統計データをお渡しし、行政施策の参考にしていただいております。今後も分析を進め、ご参加いただいた皆様をはじめ、地域全体へ貢献できるような情報を発信してゆきます。